

構造設備の概要（県基準条例第4条）と（5-4）

項目	概要							適否	基準
障壁	高さ	脱衣室	m	構造	脱衣室	出入口の区別	有・無		男女別に区画し、その入り口に掲示すること。
		浴室	m		浴室				
外部より見通しできない設備	脱衣室・浴室・便所その他入浴者が直接利用する場所 露天風呂（浴槽およびこれに付帯する通路、その他の部分）								浴場外より室内を見通しのできないよう設備する。
換気	有効面積	脱衣室	男	m <sup>2</sup>	浴室	男	m <sup>2</sup>		外気に面した開閉のできる窓の換気またはこれに代わる換気装置
			女	m <sup>2</sup>		女	m <sup>2</sup>		
	換気装置	有・無		方法					
採光	有効面積	脱衣室	男	m <sup>2</sup>	浴室	男	m <sup>2</sup>		
			女	m <sup>2</sup>		女	m <sup>2</sup>		
照明	脱衣室	男	w ケ	浴室	男	w ケ			床面において150Lx以上 廊下は75Lx以上
		女	w ケ		女	w ケ			
保管器具	衣類入れ	男	ケ	下足入	男				脱衣室には衣類入れ 入口には履物入れ 下足場 300Lx以上
		女	ケ		女				
洗い場および脱衣室の面積	脱衣室	男	m <sup>2</sup>	洗い場	男	m <sup>2</sup>			洗い場および脱衣室 男女別に区分：各1室 12.5m <sup>2</sup> 以上 5-4 脱衣室 16.5m <sup>2</sup> 以上 洗い場の床は耐水性材料
		女	m <sup>2</sup>		女	m <sup>2</sup>			
休息室	面積	m <sup>2</sup>		保養休養施設等					5-4 休息室 33m <sup>2</sup> 以上
浴槽	面積	男	m <sup>2</sup>	深さ	男	m			浴槽、浴室の内壁：床面から1mまでの部分は耐水性材料 面積は3.3m <sup>2</sup> 以上 深さ0.6m以上 露出部の高さは、洗い場の床面から0.3m以上（副浴槽を除く）（洗い場、浴槽からの水が浴槽内に流入しない措置が講じられている場合は不要。） 浴槽水を循環させる場合 ・ろ過器を設けること ・ろ過器の1時間当たりの処理能力は浴槽の容量以上 ・ろ材の洗浄または、交換を容易に行えること。 ・集毛器を設けること。 ・消毒用薬剤の注入口または投入口を浴槽水がろ過器に流入する直前の位置に設けること。 ・循環させた浴槽水を打たせ湯またはシャワーの用に供しないこと。 ・原湯を貯留する槽は定期的に点検を行い、生物膜等の付着を認めたときは、直ちに清掃および消毒を行うこと。 回収槽を設ける場合は次の要件を満たすこと。 1 地下に埋設しないこと。 2 容易に清掃を行うことができる構造であること。 3 回収槽内の湯および水の消毒を行うことができる設備を設けること 4 回収槽の清掃および消毒を定期的に行うとともに、回収槽内の湯および水の消毒を行うこと。 ・気泡発生装置の空気の入入口が土ぼりが入らない構造であること。
		女	m <sup>2</sup>		女	m			
	露出部の高さ	男	m	副浴槽の面積	男	m <sup>2</sup>			
		女	m		女	m <sup>2</sup>			
	循環式の有無	男	有・無		ろ過器	男	有・無		
		女	有・無			女	有・無		
	消毒器	男	有・無		集毛器	男	有・無		
		女	有・無			女	有・無		
	回収槽	男	有・無		原湯を貯留する槽	男	有・無		
		女	有・無			女	有・無		
気泡発生装置	男	有・無							
	女	有・無							

構造設備の概要（県基準条例第4条）と（5-4）

便 所	構 造	汲取 ・ 水洗		筒 数	男	ケ	入浴者用便所は男女別に設ける。流水式手洗装置便所は150Lx以上		
		手洗い	有 ・ 無		女	ケ			
防湿（材質等）	洗い場の床		排水溝・下水溝				浴室は水滴の落下を防ぐ構造または設備にする。 洗場の床、浴槽・浴室の内壁で床面から1mまでの部分、排水溝、下水溝、下水だめは耐水性材料		
	浴 槽		便 器						
	浴場内壁		便 槽						
給 湯 給 水	バルブ	男	水	シャワー	男	水	コックまたはシャワーを設ける。 温および水を十分に供給する。 浴槽水は適温保持 給水栓の間隔0.7m以上		
			湯			湯			
		女	水		女	水			
			湯			湯			
汚水処理	1 洗い場の傾斜		有 ・ 無				汚水が停滞しないように傾斜をつけ、ふたをする。 排水溝、下水溝および下水だめは、耐水性材料		
	2 排水溝のふた		有 ・ 無						
	3 下水溝のふた		有 ・ 無						
飲料水設備	カラン	男	ケ	表 示	男	有 ・ 無	脱衣室または浴室内に飲料水を供給する設備を一箇所以上設け、飲料水である旨を表示すること。		
		女	ケ		女	有 ・ 無			
その他	脱衣室、浴室、便所その他入浴者が直接利用する場所は、常に清潔に保ち、毎月1回以上消毒（ぬぐみ、昆虫の駆除を含む）することとし、脱衣室には、畳、むしろその他これに類する敷物を敷かないこと。 脱衣室と浴室との通路を透明なガラス戸等で仕切ること。 浴室は水滴の落下を防ぐ構造とし、または設備を設けること。								
熱気室（サウナ）	面 積	男	m <sup>2</sup>	安全装置	有 ・ 無		男女別に設ける。 75Lx以上 室内を容易に見通す窓 利用基準温度の表示		
		女	m <sup>2</sup>	排水口装置	有 ・ 無				
	耐熱性材料（床、壁、天井）		排気口設置		有 ・ 無				
	温度調節設備		有 ・ 無		温度計設置			有 ・ 無	
	通報装置（非常用ブザー）		有 ・ 無		使用するに当たっての注意事項			有 ・ 無	
	窓の設置		有 ・ 無		給気口設置			有 ・ 無	
露天風呂	浴槽およびこれに附帯する通路その他部分	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女別に区分し、境界には隔壁を設け相互に見通すことのできないこと。</li> <li>屋外から見通せない構造とする。</li> <li>十分な照度がある。・浴雑水の清浄保持装置</li> <li>屋外の浴槽水が屋内の浴槽に流入しないこと。</li> </ul>				屋外に洗い場を設けない。 脱衣室、浴室から直接出入りできること。			
風紀の基準	風紀・10才以上の男女を混浴させない。 ・風紀を乱すおそれのあるものはおかない（文書・絵画・写真・物品） ・脱衣室および浴室は、男女別に区分し境界には隔壁を設け相互に見通せないこと。								